

令和5年度 現庁舎地利活用について考える市民ワークショップ まとめ

ワークショップの概要

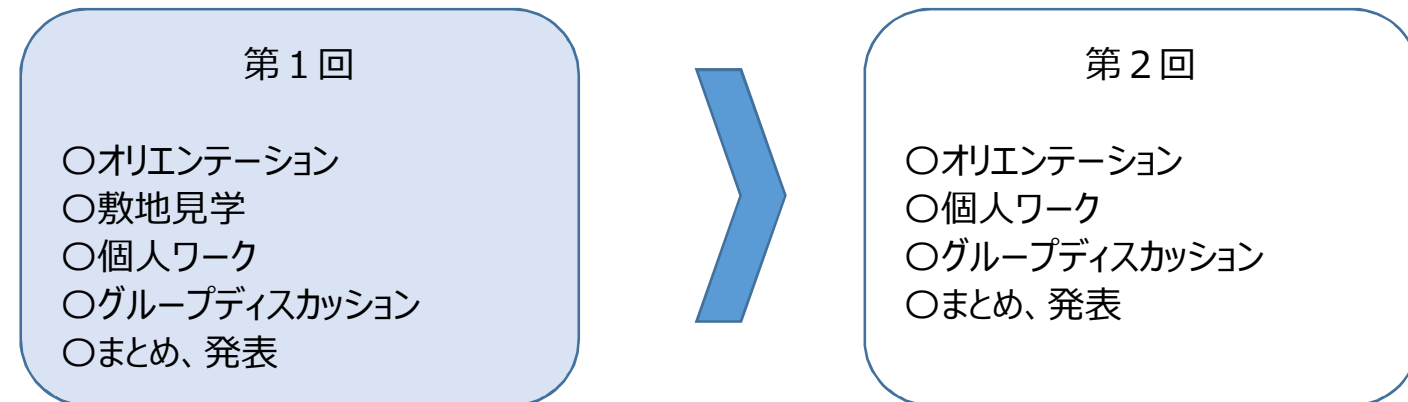
<本ワークショップの目的>

本庁舎整備に伴う現庁舎地の利活用について、市全域から参加者を募り、様々な意見を伺うことを目的として開催しました。

<開催スケジュール>

	検討テーマ	A 日程	B 日程
第1回	現庁舎地の新たな機能について考えよう	8/19 (土) 9:30~12:00	8/19 (土) 14:00~16:30
第2回	敷地のレイアウトや過ごし方について考えよう	8/26 (土) 9:30~12:00	8/26 (土) 14:00~16:30

●開催場所：ときわ会館大ホール（浦和区常盤）



<参加者・運営体制>

ファシリテーター（調整役）の進行の下、市民参加者47人が現庁舎地の利活用についてディスカッションを行いました。

市民参加者：47人（A日程：29人 B日程：18人）

※無作為に抽出した市民へ募集案内を送付した無作為抽出枠と、市報や市ホームページ等で参加者を募集した公募枠により参加者を募集し、52人の申込があり、申込者全員を参加者として決定。（欠席者：5人）

ワークショップでのオリエンテーションの内容

1日目は、現庁舎地のある浦和のまちづくりの方針や現庁舎地利活用等の検討経緯について、2日目は、予想図を考えるに当たっての視点、1日目のディスカッションの結果を踏まえた事例の紹介をオリエンテーションとして行いました。

<オリエンテーションの具体的な内容>

■ 1日目

1. ワークショップについて

今回のワークショップは、浦和駅周辺まちづくりビジョンを踏まえた「現庁舎地の利活用策」について、皆様からアイデアをいただき、今後の検討の参考とすることを説明しました。

2. 「浦和駅周辺まちづくりビジョン」について

浦和のまちの歴史や特色、浦和駅周辺の施設立地状況等を中心に、浦和が「県都としての誇りがある地域」であり、「文教都市を象徴する地域」であることを説明しました。

その上で、本市で検討を行っている「浦和駅周辺まちづくりビジョン」で位置付けている「浦和のまちの将来像」、「まちづくりの方針、展開」について説明しました。

3. 現庁舎地利活用等の検討経緯について

平成12年の合併協定書調印から令和3年の「新庁舎整備等基本構想」の策定や位置条例の改正に至るまでの経緯、また「新庁舎整備及び現庁舎地利活用の方針」について説明しました。

4. ワークショップのテーマ

本日のワークショップテーマである「現庁舎地の新たな機能」について考えるに当たって、ワークショップの進め方やルールについて説明しました。また、昨年度に実施したワークショップの成果も併せて説明しました。

■ 2日目

1. 1日目の振り返り

1日目のディスカッションで出た意見にどのような傾向があったかを振り返りました。

2. ワークショップのテーマと実施方法について

本日举行ワークショップのテーマ「現庁舎地の予想図」を作るに当たって、ワークショップの進め方やルールについて説明をしました。また、予想図を検討するための方法として、5W1Hでストーリーを考える方法とスケッチでイメージを膨らませる方法を説明しました。

3. 1日目のディスカッションを踏まえた事例の紹介

1日目のディスカッションで検討された「現庁舎地の新たな機能」を踏まえ、市民交流・防災・教育・文化の4つの視点から事例を紹介いたしました。

ワークショップの様子

①敷地見学

第1回のディスカッションでは、冒頭に参加者全員で現庁舎地敷地内を見学し、現庁舎の敷地を参加者の視点で確認しました。

敷地見学の様子



②グループディスカッション<1日目>

ディスカッションの前半は、個人ワークとして、敷地見学で得た現庁舎地とその周辺地域のイメージから、「現庁舎地でしたいこと」を作業シートに記入し、イメージを膨らませる作業を行いました。

ディスカッションの後半は、グループでのディスカッションの時間とし、個人ワークを踏まえて「現庁舎地でしたいこと」を共有し、グループで現庁舎地でしたいメイン機能とサブ機能を考えました。

※作業シートは、『マンダラチャート』を参考にしており、『マンダラチャート』は一般社団法人マンダラチャート協会の登録商標です。



③グループディスカッション<2日目>

ディスカッションの前半は、個人ワークとして1日目に考えた「現庁舎地でしたいこと」を5W1Hのストーリー又はスケッチでイメージを具体化する作業を行いました。

ディスカッションの後半は、グループでのディスカッションの時間とし、個人ワークで具体化したストーリーやスケッチをグループ内で発表し、現庁舎地の地図に書き込む作業を行いました。

地図には、建物の形状や具体的なアクティビティとともにイメージやストーリーを書き込み、現庁舎地の予想図として発表しました。



ワークショップの結果について

「現庁舎地でしたいこと」では、教育機能、文化機能、市民交流機能、防災機能、交通利便性の向上が多くのグループで挙がりました。

「現庁舎地の予想図」では、市役所通り側に市民交流を目的とした芝生広場・屋内広場、現庁舎地北側に区役所を含めた多機能を複合した施設を配置する意見が多く見受けられました。また、現在現庁舎地南東に位置する水の流れる段床やトルーカの鐘を残すまたは改修し、よりよい交流の場とする意見も多く見受けられました。

今回のワークショップでは、これまでのワークショップの結果を踏まえ、より具体的な現庁舎地の活用方法や機能配置について御意見を伺うことができました。市民の皆様からいただきました多種多様な御意見・アイデアを参考にしながら、今後の現庁舎地の利活用について、検討してまいります。